



かえでゆうびん 10月号



2024年10月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

暑すぎる夏がひと段落し、朝夕は急に秋を感じるようになりました。秋の夜長は過ごしやすく睡眠も十分とれるこの時期はできれば長く続いてほしいですね。今年石川県の震災に始まり、温暖化の影響がゲリラ豪雨・そして台風・大雨による災害が多く起こりました。南海トラフの地震が起こる可能性も有る得るといわれ、「様々な危機管理として「災害への備え」を意識しながら生活を進めています。いつでも災害に備えて皆が右往左往することなく安心安全に生活を進めていきたいと切に思っています。

9月の敬老週間では多くのおじいさん・おばあさんが見え頂き、お孫さんだけでなく園児たちにも温かいまなざしを頂き、15時から少しの時間で子ども・大人もほっこりする時間がもてました。お越しいただいた皆様ありがとうございました。また、今回予定が合わず、参加できなかった方々も希望がございましたらお声かけていただけましたら対応させていただきますので是非どうぞ！

10月5日「だいちのだいぼうけんの日」をきっかけにだいち組は過ごしてきた保育園での思いが一齐に湧き出していきます。先日から「あんなこともこんなこともしたい」の思いでだいち組の皆はととても忙しそう

です。でも食事の後片付けや飼育している小動物のお世話・園庭の片付け・絵本室の整理等、ペアのお世話等など、皆で決めたお仕事やお手伝いは忘れることなく責任をもってやり遂げてくれています。かえで保育園では、「子どもがどんな思いがあるか」を職員全体が共有し、イベントに繋げていきます。時には盛りだくさんになって時間が足りない…とバタバタすることもあります。職員で手分けしながら子どもたちの思いを形にしたり、こどもたちの考えに共感したりしながら進め、気づけば子どもからのメッセージを実現させることで保育者も力をつけていきます。させる行事（日々特訓のような練習・大人が決めたプログラムに子どもを誘導する）などの営みではなく子どもと共に作り上げる時間を大切にしています。子どもたちの発想や思いはピカピカに輝いています。その輝きをもっと光り輝かせることのできるよう企画・運営していますのでこれから先の11月9日（土）のアートフェスティバル・11月24日（金）のフェスティバル・等子どもの表現力を披露するイベントも楽しみにしていただければと思います。

11月30日（土）ダンディタイム・かえでカフェによる保育園で遊ぼう会も企画しています。お子様と一緒に木工をしたり、リサイクルバザー・栄養士や藤森によるご飯づくり等計画しています。玄関に意見箱を置いてありますのでご意見いただければ参考にさせていただきます。どうぞ、3月までの半年、皆さんで楽しみましょう。

おねがい

- ・衣替えの時期となりました。園で着用する衣服などの名前が記入できているか再確認をお願いします。
- ・日中はまだ長袖、長ズボンが必要ありません。

おしらせ

- ・9月17日～敬老週間がありました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを食べたり、好きな遊びをしたりと一緒に過ごす時間を楽しんでいました。短い時間ではありましたが、園での様子を知って頂けたかと思えます。子どもたちとたくさん触れ合って頂きありがとうございました。

10月の予定

- ・ 3日（木）午前 だいちぐみのみ
- ・ （5歳児 児童交流会～アミティホール）
- ・ 5日（土）だいちぼうけんの日
（めばえ～ひかりぐみは家庭保育に協力をお願いします）
- ・ 16日（水）消防設備点検・避難訓練
- ・ 21日（月）月例健診
- ・ 22日（火）誕生会
- ・ 23日（水）人形劇団クラルテによる人形
- ・ 24日（木）消防署立ち入り検査
- ・ 25日（金）全園児お弁当日
（いもほり遠足は11月になりました）
- ・ 29日（火）子育て支援）アート
- ・ 10・16・24・31日 体操あそび（3日はお休み）
- ・ 11・28日（金・月） 絵画あそび

11月の予定

- ・ 9日（土）かえでフェスティバル アートを楽しみます
（詳しくはお手紙を配布します）
- ・ 12日（火）～12月13日（金）幼児クラス保育参加
（お手紙を配布します）
- ・ 20日（水）ひかり・だいち いもほりバス遠足
- ・ 25日（月）地域5歳児交流会
- ・ 26日（火）移動動物園
- ・ 30日（土）ダンディタイム ・かえでカフェによるイベント

朝夕涼しく、日もずいぶん短くなり秋の夜長を感じるようになりました。帰る時間は同じでも暗くなるのが早くなると何故か気持ちが落ち着かなかったりしますね。育児をしていると帰宅後は、晩御飯・洗濯・お風呂と就寝までの短い時間の中で慌ただしい毎日を送られていることと思います。子どもの成長と共に少し楽になることもあれば、逆に時間もかかり大変になることもあるでしょう。

子どもは昨日まで好きだったメニューも「今日は嫌、あれが食べたい、これが食べたい」と、作って出しても食べてくれなかったりすると子ども以上に親の体力が限界になり、一緒に寝落ちしてしまい憂うつな朝を迎えることもあることと思います。私も20年以上前は日々悩んでいました。そんな時、夜の献立を保育園の昼食を夜も真似て同じようなものにしてみました。長女は、「え？これお昼も食べたよ」と言っていました。まだ小さな次女はなぜか大喜び、「おんなじ？ちがう！保育園の方がおいしかった」と言う日もありましたが、「ちょっと違ってママが作ったのもおいしい」と褒めてくれたりもしました。作り方が分からない時には園の栄養士の方に質問したりもしました。

かえで保育園でも毎日手作りのおいしい昼食やおやつを季節の食材も取り入れながら栄養士が作っています。昔の私のように、「どうやって作るの？」と質問して頂くのも大歓迎です。食欲の秋おいしいものを食べたいですね。

主幹保育教諭 F

さて、10月はだいち組が楽しみにしている『だいちぼうけんの日』があります。毎年『きっとできる！だいちぼうけんの日』という名前で受け継いできましたが、今年のだいち組は一味違いました。旗をどのようなデザインにするか話し合っていると、「ぜったいできる！がいい」とまさかの新しいアイデアが登場。「きっと」では心もとない、「ぜったいできる！」じゃないと…という思いからでしょうか。何だか今年のだいちさんらしいといえますか、想像もしなかったタイトル変更にも驚きつつも、15人で想いを込めて考えた名前を愛おしく感じました。

初めてのことにドキドキしたり、できるかな…と心配になったり、不安な気持ちも友だちと一緒に乗り越えることで味わえる「できた！」を沢山経験して欲しいと思っています。小さな“できた”を重ねることで自信に変わり、“やってみよう”の気持ちが芽生えていく子どもたちの姿が、これから先も楽しみです。だいちぼうけんの日当日までも、子どもたちに内緒のサプライズを準備しています。『ぜったいできる！だいちぼうけんの日』ぜったい良い日になりますように。

主幹保育教諭 K

先生のメッセージ

最近、かえで保育園の近くのスーパーが閉店してしまったり、新しいお店屋さんができたりして街が変わっていています。みなさんは見慣れていたものがなくなり、新しいものになることをどのように感じましたか？

わたしは変わりゆく街を目の当たりにし、新しいお店はなにができるのかと期待を膨らませる反面、少し複雑な気持ちもあります。

街の発展の喜びよりももちろんありますが、今まで当たり前のようにあった、慣れ親しんだ街、見慣れた街の風景が変わってしまい、思い出まで失われて行くようで、寂しい気持ちもあります。

自分のことに置き換え深く考えてみると、自分の周りがある環境は当たり前ではないということを感じました。

大好きな人たちと過ごす時間、好きなことに没頭している時間、仕事帰りの風景など色々な偶然が重なっての「いま」があるということをお忘れずに、1日1日を大事にしていきたいと思います。

子ども達も沢山の景色や人との出会いを重ね、心を育てていきます。毎日共に過ごしているからこそ気付ける心の変化や成長を大切に、保護者の方と子どもたちの成長を共有していきたいと思います。

H先生

保護者からのエピソード

この夏は保育園でたくさんの虫を触ったようです。ダンゴムシ、セミ、カナブン・・・ママは虫が少し苦手ではありますが、本人も「かわいいねー」と言いながら優しく触る、そんな姿を見たり想像していると頼もしさすら感じます。これからも保育園でしかない素敵な体験を思いっきり楽しんでね。

ふたば組 ゆうこさん

創作意欲がすごい今日この頃。家で同じクラスのお友だちにあててカードを作っていて、お友だちをイメージして作っていることに驚きました。成長していく嬉しさと寂しさを感じつつ、今後も色々な事にチャレンジして楽しんでほしいなと思います。

だいち組 みのりさん

「周りに箸が上手に使えるお友達が増え、刺激を受けた息子も保育園で練習を行っていました。先生から自宅での使用を勧められた日から、さらに意欲的に。早く食べて欲しい母からフォークの使用を促されても、断固拒否し全て箸で食べ続けています。昨日ついにMy箸をGETし嬉しそうです。盛り盛り食べて大きくなーれ」

ひかり組 さなえさん

お姉ちゃんが園で歌ってる歌を歌っていると下の子どもも身体を揺らしながら一緒に歌います。その様子が凄く微笑ましく、いつも2人に歌を覚えてもらうのが楽しみです。

ふたば組 まいさん

体調不良で保育園を休んだ時に、「〇〇が休んでいて、みんな心配してるかな～？寂しがっているかな～？」とされていて、驚きました。周りの人から必要とされている、愛されていると感じているからこそ言葉だと思えます。きっと心配してるよ、寂しがってると思うよと伝えると、嬉しそうに笑っていました。

いぶき組 あやかさん

以前は虫が苦手だった息子ですが、最近はダンゴムシを探しに行きたい、カブトムシをお家でお世話したいなど年中さんになってからすっかり昆虫がすきになったようです。保育園のお庭でお友達とダンゴムシを探したよと教えてくれ、園での楽しみをまた一つ見つけたんだなとほっこりしました。

ひかり組 たいちさん

家では歌いながら激しい踊りをし、ぬいぐるみを患者やお客さんにみだててお医者さん、お店ごっこをして遊んでいます。体力が無限すぎるので(土)(日)お出かけしないと夜寝てくれなくて大変。お手伝いもよくしてくれて、一緒にタオル畳んでくれたり洗い物もやりたーい！と飛んできます。笑

つぼみ組 しのぶさん

10月の子どもたちのようす



振ったり、色を楽しむソルトマラカスを作りました。音がでる玩具が好きなお子様達は、ソルトマラカスを見つけると、すぐ手に取り、振って音を楽しんでいました。初めは真っ白だったマラカスですが、毎日振ることで淡い綺麗な色が付きました。他のクラスのお友だちも色の変化に気付き、一緒にマラカスを振って楽しんでいます。



握ると固まり、手を開くとトロトロになる片栗粉粘土で感触あそびを楽しみました。白い液体に指先で恐る恐る触れていましたが、保育者が上から下にすくって落とすと、落ちてくる液体に手を伸ばし不思議そうに触っていました。



幼児のお兄さんたちが虫あみや虫かごを持って虫取りしているのをいつも羨ましそうに見ていた子どもたち。ある日、園庭で子どもたちと一緒にアゲハ蝶の幼虫を見つけたので、虫かごに入れてふたば組の部屋で飼育することにしました。

“はらぺこあおむし”の絵本が最近のお気に入り、絵本を読むと「あおむしさんいる？」と、毎日興味津々で虫かごを覗いています。

今やっとサナギになり、立派な蝶になることを子どもたちと心待ちにしています。

様々な虫や植物などの自然との出会いを大切にしていきたいです。



ままごと遊びが盛り上がっています。壁に様々な食べ物のイラストを貼ると、気に入ったものを指さしながら、同じ色の玩具を皿に盛り付けてスプーンで食べる真似をしながら遊んでいました。また、キッチンの水道では皿やスプーンを「じゃぶじゃぶ」と言いながらお皿洗いをする可愛い姿も見られました。



室内遊びでは子ども同士で楽しそうに遊べるようになりました。積み木では「こうしたほうが…」とお互いに思いを伝えながら積んだり並べたり一緒に楽しんでいます。

動物のカード遊びでは、読み手も子どもが行い、保育者が見守る中ルールを守りながら遊びが成立するようになってきています。



先月の園庭遊びでは葉や花を使った色水遊びが盛り上がっていました。すり鉢とすりこぎ棒を使って一生懸命色が出てくるまで混ぜていました。計量カップに水を入れて、すり鉢に入れる水の量を調節しながら濃さを調節して楽しんでいました。完成した色水をジュースに見立てて「せんせいのんでいいよ」とご馳走してくれます。「なにつくったの？」と尋ねると「やさしいじゅーすだよ」「こーひーだよ」と嬉しそうに教えてくれます。





「これ(トライアングル)ってなんていう楽器か知ってる？」と聞いてみると「さんかく！」と自信満々に言う子どもたち。みんなで耳をすませて聴いてみると、「なんだかかわいい音がする」「こんな長いなんだね」と音を感じました。色々な楽器があることを知り、楽器を奏でる楽しさを味わいたと思います。



「り・ん・ご!」「ひ・か・り!」と言葉に合わせて手拍子をする、リズム遊びが盛り上がっています。円になり、一人ずつ「何の言葉にしようかな…?」とワクワクしながら、言葉の数に合わせて手拍子をしています。2文字のときには、2拍子、伸ばし棒や小文字の際には間を空けるなど、言葉に合わせて音を作る楽しさを感じています。



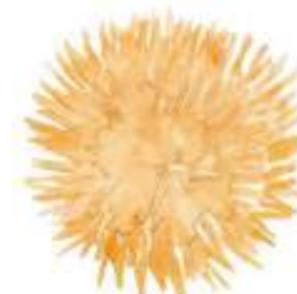
絵の具で色水を作り、氷にして遊びました。色水を作った次の日には「アイスできてるかな？」と期待を膨らませていた子どもたち。氷が溶けて色がでるおもしろさを感じる子どもや、「アイスクリームみたいだね」とアイスに見立てて遊ぶ姿が見られました。今月は、本物のアイスを作ってアイス屋さんをする予定です。



園庭にねずみばあさんの杖が落ちていました。クラスの集いで相談する中で「えんていにおとしたんじゃない?」「つえがなくてこまってるかも…」と様々な意見がでました。そこで絵本室に向かい、杖を届けることにしました。「ねずみばあさん、おへんじくれる?」「マンホールのしたにいるかもしれない!」とワクワクしながら届けました。かえでですっと以前から続いている「ねずみばあさん」の不思議に今年のひかりぐみも興味をもち始めています。

～手をつなごう～

9月にクラスで「てをつなごう」という歌を楽しみました。リズムが難しく、歌に慣れるまでは不安そうな様子でしたが、「てをつなごうっていうただから、てをつないでうたったらいいんじゃない?」とAちゃんが言うと「いいね!」「そうしよう」とみんなで手を繋ぐと力が湧いてきて、声に自信を感じられるようになりました。誕生日会では、みんなの前で堂々と披露し「みんなに聞いてもらえてよかった」と達成感を感じているようでした。



10月のあそびへの思い

～どんな国があるのかな～

「エッフェル塔を作って、みんなでオリンピックをしたい」という思いから、エッフェル塔について調べているうちに、オリンピックのマークや国旗の存在に気がきました。国旗の絵本を見ながら色鉛筆で描いてみたり、オリンピックのマークに疑問を持って保育者と一緒に調べてみたりするなど、一つのきっかけから様々なおもしろい発見を大切に進めていきます。



以前までは、ままごと遊びで来ている浴衣を「先生、手伝って」と持ってきていましたが、最近では「〇〇ちゃんに結んでもらったよ」「上手なんだよ」と友だちに話しかける姿が増えてきました。折り紙が上手なのは誰か、積み木を組み立てるのが上手なのは誰か、遊びをとおしてその分の得意な人に聞きに行くことで方法を知ったり、相手の素敵などところを知る機会にもなっています。一緒にいるからこそ気づくこと、興味関心から気付く友だちとの関わりや相手の素敵などところに気付く機会が増えることを嬉しく感じます。



お台所から

今月の食育活動

9月11日

つぼみクラスの子どもたちとうもろこしに触れてもらいました。硬い皮を頑張って保育者と共に剥いてくれたり、じーっと見つめたりと楽しそうに皮むきをしてくれました。夏にたくさん登場したとうもろこしですが、もう夏野菜も終わりを迎えます。今年もたくさんメニューに取り入れ、子どもたちに食べてもらえて良かったです。来年もおいしい季節になったら、とうもろこしごはんやサラダにどんどん取り入れていきますので楽しみに。

9月17日

秋はお月様が一番きれいに見える季節です。中でもお月様が一番まん丸になる日を「十五夜」といい、今年の十五夜の日にはお月見団子をおやつに食べました。安全面を考慮し、今年は上新粉と豆腐を使ったお団子にしました。例年と比べると弾力があり一生懸命噛む必要がありますが、お台所のドアをノックして「美味しかったよ！」と伝えにきてくれる子や「おかわりしたかったな」と残念がっている子もいたぐらい好評でした。玄関のお台所コーナーに飾っていたお月見団子を見つけると、「お団子だ～」「あれおやつに食べたよ」と保護者の方にお話している子もいました。子どもたちと保護者の方にとって、会話と笑顔が生まれる場所になると嬉しいです。

10月の献立・予定している食育活動

秋は「収穫の秋」「食欲の秋」と言って、果物や野菜がたくさん採れる季節でもあります。10月の献立には旬の食材であるかぼちゃを使ったかぼちゃ煮やさつまいもがたっぷり入った秋のポテトサラダ、さつまいもごはんなどを取り入れていきます。またおやつには幼児さんからではありますが栗を食べる機会も設けていきます。様々な秋の味覚を知り、沢山の「美味しい」に出会って欲しいと思います。

栄養士 H先生 N先生

めばえ

まだ日中は暑い日もありますが少しずつ気温も下がり、秋の訪れを感じられるようになりました。歩くことが上手になってきている子どもが増え、“歩くことが楽しい”と笑顔で様々な場所へ散策するようになりました。またわらべうたや絵本も保育者やお友だちと一緒に楽しめるようになってきています。絵本に合わせて手を叩いたり、足を動かしたり、身体を揺らしたり保育者と一緒に声を出したり、絵本を見るだけでなく全身で楽しむ様子が見られます。保育者と一緒にわらべうたや触れ合いあそび、絵本や歌が大好きな子ども達。1回すると“もう1回”と手で伝えてくれます。秋になると落ち葉を踏んだり、触ったりして夏とは違った様々な感触を楽しみ、園だけではなく散歩なども楽しみたいと計画中です。子ども達がどんなことを感じているのか、何を夢中で見ているのかなど保育者間や保護者の皆様と共有してたくさん秋を感じたいと思います。

ふたば

まだまだ暑い日が続いていた9月ですが、水遊びだけでなく虫とりや電車ごっこ、室内ではままごとやお世話遊びなど様々な遊びを楽しめました。4月の進級・入園当初は1人でじっくりと遊び込むことが多かったふたば組の子どもたちでしたが、最近は友だちの遊びに興味をもって「なにしてるのー？」と言いたげにじっと見つめていたり、同じ玩具を使ったりすることが多くなってきました。言葉がなくても目を合わせてニコッと笑い合うだけで、なんだか思いが通じ合っているような子ども同士の関わりを見るたび、保育者も温かい気持ちになりながら見守っています。また最近では友だちや先生と言葉でのやり取りを楽しむ姿が多く見られます。「ちょうだい」「はい、どうぞ」「あついね」「〇〇くんえんえんしてるね」思ったことや感じたことをどんどん言葉にする嬉しさを感じているようです。「いらっしゃいませ」「アイスクリームどうぞー」「ねんねしようね」と遊びの中でも言葉のやり取りを楽しんでいます。思いが相手に伝わる嬉しさや、受け止めてもらう心地よさ、友だちとやり取りする楽しさを感じられるよう、日々子どもの“伝えたい！”を見逃さないよう過ごしていきたいと思います。

つぼみ

夕方は日が落ちるのが早くなり、子どもたちも涼しい秋の訪れを感じている様子です。夜になると園庭ではスズムシが綺麗な音色で鳴いています。つぼみ組でも先月からスズムシの観察をできるように虫かごに入れて自由に見れるように室内に置いていました。「リーンリーン」と静かに綺麗な音色を出すスズムシに興味津々で虫かごの周りを囲って夢中になって耳をすませていました。生活面では自分でできることが増えてきました。保育者の声掛けなしでも日頃の行動が習慣となって、身の回りのことは進んで行おうとする姿が見られます。つぼみ組での生活も半年が経ちました。残りの半年間は幼児クラスになるにむけて、必要に応じて援助しながら自分でできる喜びを感じて成長できるように見守ってまいります。

いぶき

暑さの中に吹く涼しい風が、秋の訪れを感じます。子どもたちは、園で育てているマスカットを美味しく食べたり、トンボを探したりと少しずつ秋を見つけている様子です。最近の子どもたちは手伝いたい役に立ちたいという気持ちでいっぱいです。ひやりんのコップがなくなった時、「いってくるね」とコップを友だちと運ぼうとしたり、保育者が椅子を片付けているのを見て「手伝うね」と片付けてくれたりと、自分から進んでしようとする姿が見られます。相手が喜んでくれた・人の役に立てたという子どもたちの気持ちが満たされる姿を見て、子どもたちのやってみようという意欲を大切にしていきたいと改めて思いました。色々な人との関わりに刺激を受け見守られている安心感を感じながら、社会性を育めたらと思います。

ひかり

新年度が始まってから、早半年…あっという間に10月になりました。8月に行った夏祭りごっこで、つぼみ組と一緒にお店を回ったことから、少しずつ関係が深まってきました。毎日の生活の中でも、昼食前の時間に一緒に過ごしています。遊んだ後は、保育室まで見送ったり、手洗いまで教えてくれるようになりました。少し前までペアのお友だちに手を引かれながら過ごしていたはずなのに、気付けば「どうしたの?」「なにしておそび?」と優しい眼差しをむけながら関わる姿に、嬉しい気持ちと少し寂しさも感じます。これからも、少しお兄さん・お姉さんになっていく子どもたちの姿を見守ってまいります。



だいち

9月のだいち会議では主に「だいぼうけんの日に向けてやってみたいこと」をみんなで話し合いました。クッキングをしたい、オリンピックをしたい、エルマーごっこをしたい…など様々な意見がでました。1つの意見が出ると「じゃあ〇〇をつかったらいいんじゃない?」「△のところをやったらおもしろいかも」と友だちの意見に沿ったプラスアルファのアイデアがどんどん溢れてきます。友だちの思いを尊重しているからこそその行動に、10月5日のだいぼうけんの日から、だいち組の子どもたちとのプロジェクトがどう進んでいくのか楽しみです。

はまかせ

夏遊びから自分のやってみたいことをじっくり遊び込む姿や友だちとの関わりがまた1つ広がった9月となりました。子ども達の想像力には驚かされることがたくさんあり、保育者にも新しい気づきとなっています。1つのきっかけから挑戦したいこと、表現したいことを思いっきり楽しめる心や自分の思いや考えを周りの人に伝え合うことの心地よさを感じてほしいです。心落ち着く気の合う友だちがいることも大切ですが、生活や遊びをとおしてお互いの素敵などところに惹かれる新たな一面を知る機会にも繋がるような秋を過ごしていきたいです。